

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	1型糖尿病患者におけるFGM導入による心理負担の変化に関する研究
研究責任者	河内あゆみ
研究機関名	日本赤十字社医療センター 看護部
研究目的と意義	<p>血糖測定器械のフラッシュグルコースモニターリング (FGM) は硬貨大の「センサー」を皮膚に貼付して皮下間質内のグルコース濃度を測定することによって連続的に血糖を推測できる医療機器であり、血糖コントロールの改善や低血糖の軽減に役立つことがすでにわかっています。ところで、糖尿病の患者さんは常に心理的負担を抱えており、そのことが血糖コントロールの良悪などにも関わっていることが指摘されていますが、FGMの使用と糖尿病における心理的負担の変化との関係を調べた研究はまだあまりありません。これらのことを踏まえ本研究では、1型糖尿病患者さんを対象に、FGM導入前後の心理的負担の変化を比較検討します。</p>
研究方法	<p>2018年1月から2019年8月までに、1型糖尿病でFGMを導入した外来患者さんを対象とします。糖尿病内科では、通常の診療・療養指導の一環として、毎月1回の、FGMのデータに基づいた医師による診療と看護師による療養指導および、血液検査・尿検査と心理的負担検査 (PAID検査) が適宜行われております。本研究ではFGMの導入前と導入3ヶ月後のデータを振り返って比較検討します。</p> <p>比較するデータは、年齢、性別、HbA1c値、インスリン総使用量、FGMのデータ (治療域、低血糖域、高血糖域にある測定回数または時間)、PAIDスコアです。</p> <p>本研究は通常の診療で得られた検査データを振り返って解析するものであり、患者さんに特別な時間や費用はかかりません。また、データは匿名化されて数値処理されますので、患者さんの個人情報外部へ漏れることはありません。発表の場合にも匿名で扱います。参加を希望されない場合にも今後の診療等に不利益はありません。もし、研究への参加を希望されない場合は、以下までご連絡ください。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター 看護部 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者 : 河内あゆみ TEL : 03-3400-1311 FAX : 03-3409-1604</p>